

地域共生社会におけるこれからの社会福祉法人と その期待に応える人材確保策について

◇趣 旨

社会福祉法改正に伴い、社会福祉法人のガバナンスの強化や地域公益活動等の様々な視点から、現状の課題や今後のあり方について、議論が進められています。また、従来の福祉サービスにとどまらず、制度の狭間を住民とともに支える地域の支え合いづくりも求められています。

本セミナーでは、社会福祉法人が「地域共生社会」の創出にどのように貢献できるのかを考えるとともに、福祉人材の確保・定着に向けた取組や戦略について学ぶことを目的とします。

◇対 象 横浜市社会福祉協議会会員、横浜市福祉事業経営者会会員、
市内社会福祉法人役職員 等 **定員 150 名**

◇日 時 平成 30 年 **2 月 26 日 (月)**
午後 1 時 30 分 ~ 午後 4 時 45 分 (受付：午後 1 時 ~)

◇内 容

(1) 「地域共生社会」をどうつくりだすか？これからの社会福祉法人

講 師 **宮本 太郎 氏** 中央大学 法学部 教授、全社協「月刊福祉」編集長、
厚生労働省 社会保障審議会生活困窮者自立支援及び
生活保護部会長



中央大学法学部教授。立命館大学法学部助教授等を経て、現職。専門分野は福祉政治、福祉政策論。近年では厚生労働省の社会保障審議会の特別部会において生活困窮者自立支援制度の礎に関わる等、国の社会保障施策に精通。著書に『共生保障<支え合い>の戦略』(岩波新書)、『転げ落ちない社会：困窮と孤立をふせぐ制度戦略』(勁草書房)など。

(2) 「本気」と「らしさ」で福祉人材確保

講 師 **門野 友彦 氏** らしさ研究所 代表
元厚生労働省福祉人材確保対策検討会構成員



1985 年リクルート入社。営業、組織人事コンサルタント、転職サイト「リクナビ NEXT」の立ち上げ等 WEB を使った人材マッチング手法の新規開発に携わった後、2011 年から 4 年間、福祉業界の人材確保・定着戦力を推進する HELPMAN! ● JAPAN プロジェクトを担当。福祉業界の採用・定着・戦力化力の更なる向上を支援するために 2015 年らしさ研究所設立。著書に『Dr. 門野の転活相談 書類で決める！転職術』(すばる舎、2012 年)がある。

◇参 加 費 (1) 会員法人 無料 ※横浜市社協会員法人または横浜市福祉事業経営者会会員法人
(2) 非会員 3,000 円 (参加者 1 人につき)

◇会 場 関内新井ホール
横浜市中区尾上町 1-8 関内新井ビル 11 階 (JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩 3 分)